

2026年8月20日

トヨタコレクション企画展

(※別紙1)

「華ひらくジャポニスム」

トヨタ産業技術記念館（名古屋市西区則武新町 ※別紙2）では、2026年10月3日（土）より、標記の企画展を開催いたします。日本のモノづくりの源流ともいえる、主に江戸時代中期から明治時代の貴重な科学技術所蔵品から、「美術・工芸」に関する資料展示を行います。

【タイトル】 トヨタコレクション企画展

はな

華ひらくジャポニスム

— 技術と美術の文明開化 —

パリから始まり、1873年のウィーン万博を機に、欧州を席捲した「ジャポニスム」。その底流には日本の圧倒的な職人技がありました。幕末から明治へと大きく時代が動いたこの時期、日本の職人たちは伝統の技を磨きながら、西洋の技術や文化を柔軟に取り入れ、新たな美を生み出していました。

本展ではトヨタコレクションが誇る江戸から明治の美術・工芸品を「ものづくり」の視点から紹介します。

- 【期 間】 10月3日（土）～12月13日（日）
- 【会 場】 トヨタ産業技術記念館 特別展示室
- 【開館時間】 9：30～17：00 月曜休館（祝日の場合は翌日）
- 【入場料金】 館の入場券（常設展）でご覧いただけます。
- 【後 援】 名古屋少年少女発明クラブ



<みどころ>

- 江戸時代から大正時代にかけての美術品や工芸品をモノづくりの観点から展示・紹介します。
- 当時の美術・工芸品の作り方や原理を紹介します。
- 江戸の技術でつくる美術体験コーナーもご用意します。

<関連イベント>

- 講演会

日にち	タイトル	講 師
10月25日（日）	ジャポニスム ～風土が生んだ「用の美」と「モノづくり」～	鈴木一義（国立科学博物館名誉研究員）

〈お問い合わせ〉 アドミニストレーショングループ 広報担当
 TEL. 052-551-6111 FAX 052-551-6199
 連絡先 e-mail: info@tcmit.org

以上

【トヨタコレクションとは】

「トヨタコレクション企画展」は、日本近代化の原動力となった、江戸時代のモノづくり文化を紹介する展示会です。

19 世紀後半の明治維新以降、日本は鎖国を解き、西洋文化を積極的に取り入れ急速に近代化を進めました。当時の技術者は西洋の技術をそのまま導入するのではなく、日本の風土や素材に合わせてオリジナリティあふれるモノづくりの技術に昇華させていきました。

トヨタコレクションは、江戸中期から明治初期の工学、医療、美術・工芸などに関する五百数十点におよぶ科学技術資料で、1999 年にトヨタ自動車が取得し、2005 年より当館にて一般公開しています。精密性や芸術性を備えた日本のモノづくりの神髄に迫るコレクションです。

日本の発展を支えてきた繊維機械と自動車の産業技術の変遷を紹介する常設展とともに、その源流となるトヨタコレクションの企画展を通じて、研究と創造の精神とモノづくりの大切さを感じ取っていただければ幸いです。

【主な展示物】

版画

錦絵【深川 中祀 中川】



銅版画【大久保利通肖像画】



絵画

日本画【花籠の図】



陶磁器

色絵 開化皿【長崎港外輪船之図】



写真

【横浜写真】



漆器

【のぞきからくり】



【乾漆唐草文様望遠鏡】



彫金

【大櫓時計】



【トヨタ産業技術記念館のご案内】

トヨタ産業技術記念館は、1994年にトヨタグループ17社の共同事業として、グループ発祥の地である旧豊田紡織株式会社本社工場跡に設立されました。建築史的にも貴重な赤レンガの建物を産業遺産として保存・活用し、「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さや素晴らしさを、本物の機械の動態展示と多彩な実演を通じて伝えています。

(1) 所在地： 名古屋市西区則武新町4-1-35

TEL：052-551-6115

FAX：052-551-6199

(2) 開館時間： 9：30～17：00（常設展示場への入場受付は16:30まで）

＊休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）

(3) 入場料： 大人 1,000円、65歳以上 600円、大学生 500円、
中・高生 300円、小学生 200円、団体割引あり

(4) ホームページ： <https://www.tcmit.org/>